

2015年度
ちくりん舎の活動状況

2016.5.22

NPO法人市民放射能監視センター(ちくりん舎)理事
青木一政

ゲルマ2台体制の立ち上げと安定運用

- 2015年5月 設置工事開始
- 6月 調整開始
- 7月 2台目稼働開始
- 10月 長時間測定料金改定（値下げ）



ゲルマ測定器愛称
1台目：ミレーン1
2台目：ミレーン2

シンチレータ測定器愛称
オーレリー

ゲルマ2台目設置工事の様子



特別寄付により2台化を達成

- 特別寄付のご協力ありがとうございました。
108万円(団体37万円、個人71万円)で目標額を突破。
- ゲルマ2台化金額の内訳(概要)

収支	内訳		備考
支出	ゲルマ半導体測定器	1,620,140	
	検出部本体	0	ゲルマ中古品をACROより無償提供
	マルチチャンネルアナライザ	(1,129,590)	2013年度に事業収益より予備品として購入済み
	鉛遮蔽体製作・設置	1,620,140	
	建物増設工事	810,000	
	立上げ調整・校正	0	ちくりん舎スタッフにより実施
	総額	2,430,140	
収入	特別寄付	1,080,000	
	特別借入	900,000	今後事業収益より返済
	事業収益からの補てん	450,140	
	総額	2,430,140	

ミレーン1とミレーン2の比較

	ミレーン1	ミレーン2
検出部	BSI*社製プレーナー型 (新品) *Baltic Scientific Instruments(ラトビア)	BSI社製同軸型 (中古品) *Baltic Scientific Instruments(ラトビア)
マルチチャンネルアナライザー	Itech社製(仏) ORION	Itech社製(仏) ORION
解析ソフト	Itech社製(仏) InterWinner7.0	Itech社製(仏) InterWinner7.0
スペクトル分解能	4000ch/30-1980kev	8000ch/30-1980kev
特性	低エネルギー領域での特性に優れる	中～高エネルギー領域で高性能



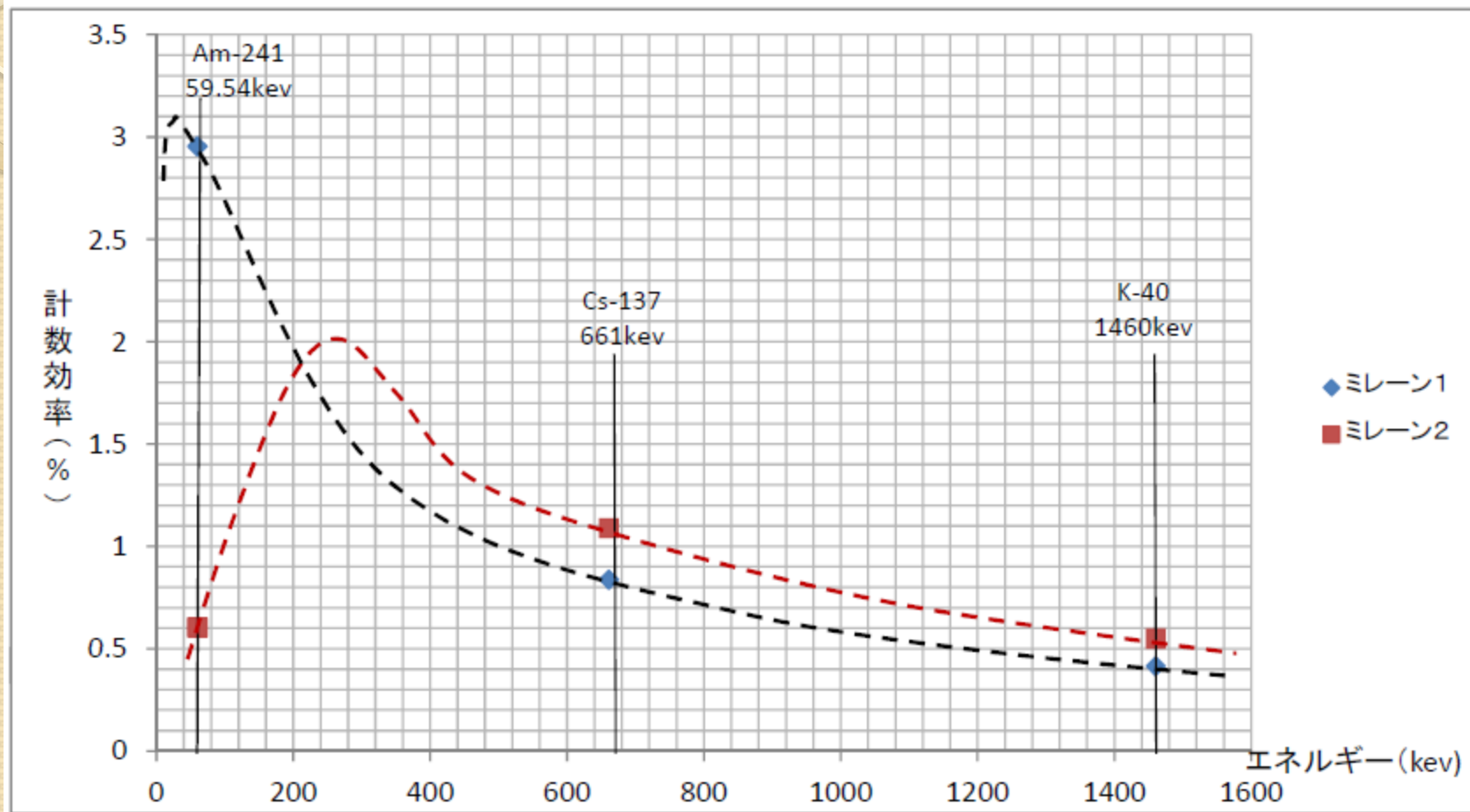
ミレーン1 (プレーナー型) の検出部



ミレーン2 (同軸型) の検出部

ミレーン1とミレーン2の比較

ミレーン1 とミレーン2 の効率特性（模式図）



ミレーン2(プレーナー型) は低エネルギー領域での計数効率が高い

長時間測定の新料金表

新料金表 (2015年10月1日より)

NPO法人 ちくりん舎

●一般の検体

円/時間	0.5	1	2	4	8	18	24	48
会員	2,500	3,000	5,000	6,500 (8,500)	10,000 (12,000)	13,000 (16,500)	15,000 (18,000)	18,000
非会員	3,000	4,000	6,500	8,000 (11,000)	12,500 (15,500)	17,000 (21,500)	18,500 (23,000)	21,500

*括弧内は旧料金です。12時間の料金設定は無くなりました。

*測定時間を長くすることで検出限界は下がります(精度があがる)。詳しくはお問い合わせください。

●尿検査(18~24時間測定)検出限界0.1Bq/Kg程度

1検体	10,000円/1検体
3検体以上	9,000円/1検体
5検体以上	8,000円/1検体

*お申込みの際に検体数をお知らせください。

●リネン吸着プロジェクト(18~24時間測定、リネン布代含む)

12,000円/1検体

約100名の皆様の参加をいただきました。

NPO 法人ちくりん舎 (市民放射能監視センター)
第3回シンポジウム

原発事故被害者の今を知る ～避難先から・被災地から～

放射能安全神話の下に
被ばくを強いられ、
「風評被害」に分断される
原発事故被災地

「復興」の名の下に
帰還を強要され、
「避難の権利」を奪われる
原発事故被害者たち

福島原発事故から5年、
想像し得なかった新たな開いが
始まっています

2016年 **3月20日 (日)**
13:30 ~ 16:30 (開場 13:15)

武蔵野公会堂 (吉祥寺駅徒歩2分)・参加費500円

お話 **イアン・トーマス・アッシュさん**
映画「A2-B-C」監督

(当事者からの報告)

- 避難先から 星ひかりさん (郡山市から東京都へ) 長谷川克己さん (郡山市から静岡県へ)
- 被災地から 小澤洋一さん (南相馬市) 菅野美成子さん (伊達市)

主催: NPO 法人ちくりん舎 後援: 認定 NPO 法人高木仁三郎市民科学基金



○避難した方もしていない方も子供たちを守らなければという思い。この思いが強くて突き刺さり私自身失いかけていた大切なことを少しでも取り戻すことができたように思います。大切な話を聴ける機会を頂き有難うございました。（男性・40代）

○この活動を出来る限り続けてください。（男性・60代）

○真実を知ってびっくり。メディアはもっと勇気ある報道を。皆さん、子供の将来を考えておられ共感します。本企画、有難うございます。（男性・50代）

○ときどきチラシ等で（ちくりん舎が）活動している様子を見えています。地道な活動ですが大事な中味ですね。今後に期待しております。今日は有難うございました。（女性・70代）

○今日は具体的な内容をいろいろ聞くことができとてもよかったです。ちくりん舎の活動がよくわかりました。地道なご努力に頭がさがります。イアンさん、映画を撮ってくれて有難う。菅野さん、疲れ過ぎないように。（女性・60代）



情報発信 — ちくりん舎ニュースの発行とウェブサイト更新

2015年度は8~10号を発行。2ページ増量して毎号6ページの内容に。

ちくりん舎 ちくりん舎ニュース

市民放射能監視センター lab.chikurin@gmail.com 2015.4.20 第1号



測定随時受付中

多数の参加で熱気あふれる会 ～第2回ちくりん舎シンポジウム～

3月1日(日)、立川市の「たましん総合ホール」で第2回ちくりん舎シンポジウム「広がる放射能と子どもたちへの健康影響～チェルノブイリの実験から考える～」が開催されました。あいにくの雨にもかかわらず約70名の方が参加され、熱気あふれるシンポジウムとなりました。

シンポジウムではOnePlanetTV代表の白石さんから「チェルノブイリの実験、韓国・日本の子どもたちの今後の健康」と題した講演が行われました。その後、「もう一つの内閣総辞職～放射能汚染現場からの報告～」と題して放射能汚染を考えるふくしま連絡会代表の船出安子さんから、福島県内各地で認められている放射能汚染ゴミ焼却炉の問題についての説明報告がありました。

またNPO法人ちくりん舎の理事・青木一哉さんから「リネンプロジェクトから見えてきたもの」と題して、いくつかの団体と共同で進めている大気中浮遊塵の放射能測定についての報告がありました。このシンポジウムには、福島県南相馬市からつばき市に避難している平田安子さんをはじめお母さんの方々の参加がありました。平田さんは、放射能汚染の被害を受けた後、どのように生活しているか、子どもたちの健康への影響が心配です。



立川市のたましんホールで開催されたシンポジウムの様子

- 第2回ちくりん舎シンポジウム
- シンポジウムに参加された方々名簿
- ゲルマ2台体制へ向けでの測定
- ちくりん舎の測定結果
- ちくりん舎の活動報告
- ちくりん舎の活動報告
- ちくりん舎の活動報告
- ちくりん舎の活動報告

ちくりん舎ニュース

ちくりん舎 ちくりん舎ニュース

市民放射能監視センター lab.chikurin@gmail.com 2015.4.25 第2号



測定随時受付中

ゲルマ2台体制がスタートしました ミレーン2、いよいよ本格稼働!

本年3月にゲルマ2台体制へ向けて寄付の呼びかけをお願いしましたが、6月末時点で会員の皆さんを中心とした寄付が37万円、個人から71万円の寄付をいただきました。目標額の100万円を超える寄付により、2台目のGe測定器を7月から稼働させることができました。ご協力本当にありがとうございます。なお、2台目はミレーン2と命名しました。

これからは尿、水、食品、リネンなど下関の低い放射能測定を今までの倍こなせます。また測定も長時間測定でかなり低価格にできますので、皆さんの測定監視活動に大いにご利用ください(新価格については改めてお知らせします)。

<ミレーン2紹介>

今回の2台体制に伴い、測定室を増築し、ミレーン2の測定器体を新築に作成しました。測定器体は、1トンを超える重量がある大物です。アクロから寄付されたミレーン1の新測定器体は、性能、使い勝手が非常に優れているので、ミレーン2の測定器体を依頼しました。測定器体の重量が100kgを超え、100mmの箱サイズの内寸法は、最大2.1mのマリネリ内寸法です。前面から機体の出し入れ式です。同じ高さのテーブル、色も揃えて、まるで1台のようになってます。また、ミレーン1で300kgを超える重量6ヶ月に1回、ミレーン2の時に替え、1個が20kgブロックの積み重ね構造



ミレーン2の新しい測定器体

- ゲルマ2台体制がスタートしました
- 2台目測定器、製作完了
- ちくりん舎の測定結果
- ちくりん舎の活動報告
- ちくりん舎の活動報告
- ちくりん舎の活動報告

ちくりん舎ニュース

ちくりん舎 ちくりん舎ニュース

市民放射能監視センター lab.chikurin@gmail.com 2015.11.25 第3号(第10号)



測定随時受付中

被ばく限度1ミリの厳守を求めて 南相馬・20ミリ基準撤回訴訟への支援を

ちくりん舎で進めている大気中浮遊塵の放射能汚染を調査するリネン吸着法プロジェクトがきっかけで、南相馬市の人々との協力関係が生まれました。南相馬市では避難先と接する原町区を中心に高汚染地域が広がっています。この地域で汚染状況を地道に調査しながら、行政や市民に被ばく低減のための働きかけを続けて来た「南相馬・避難先住民の会」の小澤淳一氏が、リネン吸着法に注目して原町区の名所での調査を行ったことがきっかけです。

<特定避難先住民の会への支援を> 政府は一方的に避難先住民の会を解散させた。小澤氏の強い働きかけや子どもたちを放射能から守る法律家ネットワーク(SAFLAN)などの支援もあり、と原発事故など無かったことにしたいという政府の意図は明らかです。南相馬市原町区に点在していた特定避難先住民の会も、2014年秋には指定解除の動きが報じられました。小澤氏と原町区の区長さんを中心に避難先住民

と反対する動きが急増しました。東京でも避難先住民の会と政府交渉が取り進められました。国際環境NGO・ToE ジャパンやフクロウの会等と協力して、ちくりん舎も測定や分析などの面で協力しました。



避難先住民の人々(2015年9月26日の第1回月例の報告集会にて)

- 南相馬・20ミリ基準撤回訴訟
- ちくりん舎の測定結果
- ちくりん舎の活動報告
- ちくりん舎の活動報告
- ちくりん舎の活動報告

ちくりん舎ニュース

ウェブサイト固定ページは10回更新(新設4)、ブログ記事は43回実施。

尿検査結果 — 地域による違い(調査期間2013/4~2016/1)

